

平成28年度「学力・学習状況」検証事業研究状況報告書(概要)

1 研究主題

「確かな学力」を身に付けた生徒の育成
～実感を伴う「わかる授業」の確立を通して～

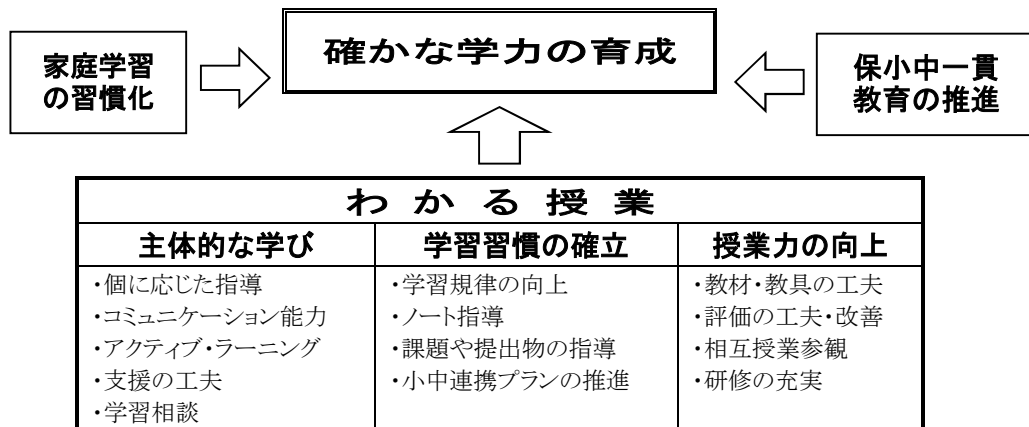
2 研究目標

生徒ができる喜びや創る喜びを実感できる「わかる授業」を通して、主体的な学びへと発展させていくことで、「確かな学力」を身に付けた生徒の育成につながることを、実践を通して明らかにする。

3 研究仮説

生徒の喜び（成就感・達成感）を伴った「わかる授業」を目指して、授業を工夫・改善していけば、学力や学習意欲が向上し、主体的な学習態度や家庭学習の習慣化につながり、「確かな学力」を身に付けた生徒が育成できるであろう。

4 研究の全体構想図



5 研究の主な実践

- (1) 「全国学力・学習状況調査」の分析ツールを活用し、国語・数学における特徴や生徒質問紙とのクロス集計による特徴の分析
- (2) 数学科における加配教員の活用による T.T. や少人数指導の実施
- (3) 学習指導支援員，特別支援教育介助員の有効活用（重点的配置）
- (4) 相互授業参観
- (5) 振り返りシートによる授業評価
- (6) 家庭学習の習慣化と内容の充実
- (7) 小中連携した取組